

長万部町



防災 ハンドブック

みんなで「万が一」から命を守るための一冊



はじめに	1	索引・津波全体図	9～10
警戒レベルを用いた避難情報	2	津波ハザードマップ	11～18
防災気象情報	3・4	洪水・浸水害について	19
非常持ち出し品および備蓄品	5	土砂災害について	20
避難行動判定フロー	6	洪水・土砂ハザードマップ	21～28
地震対策について	7	避難施設一覧	29・30
津波対策について	8		

災害の備え

地震・津波

洪水・土砂

避難施設一覧

長万部町に居住・滞在されている皆様へ

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による新たな津波浸水想定が公表されたことを受け、防災ハンドブックを令和4年(2022年)3月に作成しましたが、新たに南部陣屋川や長万部川上流が洪水浸水想定区域に指定されたため改訂を行いました。

災害は突如として発生し、時には私たちの生活に大きな影響を与えます。

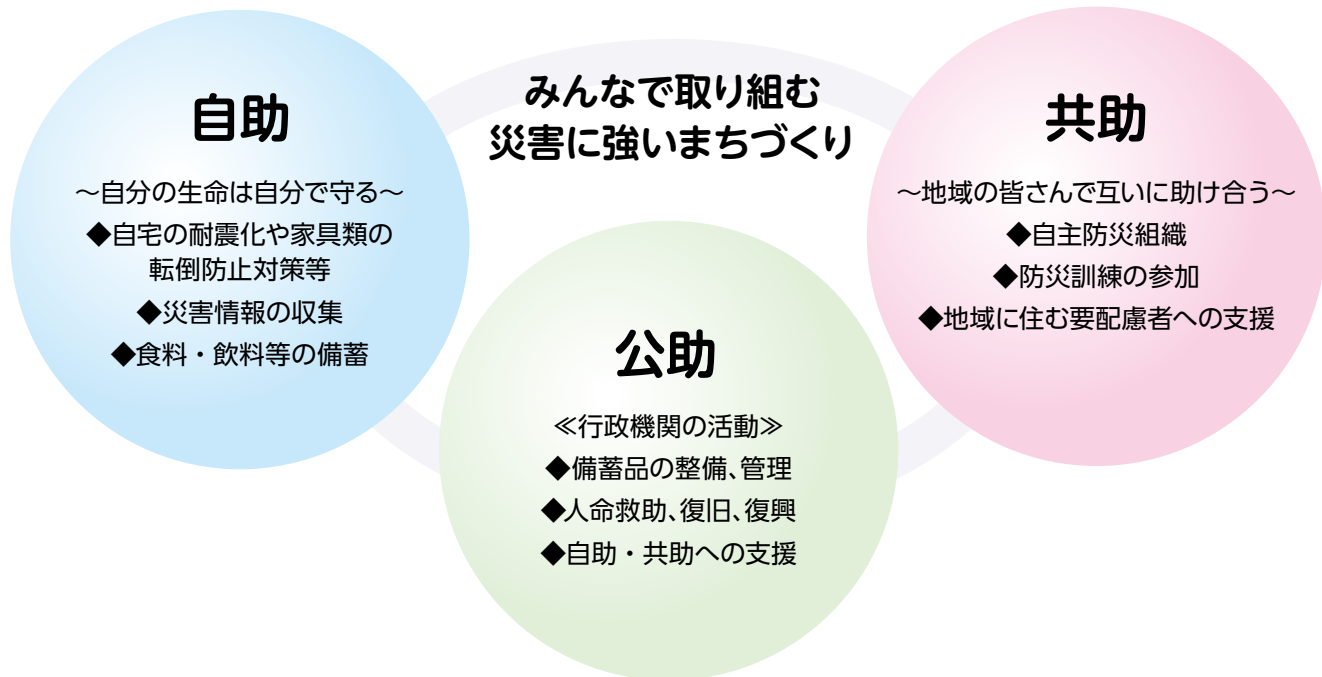
ここ30年程を振り返ってみても、平成5年(1993年)7月12日発生の北海道南西沖地震では、激しい揺れによる液状化現象などでライフラインが寸断され、平成12年(2000年)3月31日発生の有珠山噴火では、虻田町(現在の洞爺湖町)から1,316人の避難者を受け入れ、平成30年(2018年)9月6日発生の北海道胆振東部地震では、北海道エリア全域に及ぶ大規模停電(ブラックアウト)など、いくつもの経験を重ねてきました。

いざというとき、被害を最小限に抑えるためには、一人一人があわてず適切な行動をとることが大切です。

この冊子が、災害時の心構えに役立つことを願っています。

令和6年(2024年)12月 長万部町

地域の防災力を高める 自助・共助・公助



大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することで住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。

いざというときに備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。

警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全 確保	5 相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難！ > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当 氾濫危険情報	土砂災害 警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等 避難	3 相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水 注意報	2 相当 氾濫注意情報	———
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当 ———	———

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。  
また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 高齢者等避難や  
警戒レベル4 避難指示で、

地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。



## 特別警報について

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれ  
が著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

### ◆特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が 予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により 高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により 雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

### ◆地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を 特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)

## 特別警報が発表されたら

- ❗ 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ❗ 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ❗ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 土砂災害警戒情報について

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、  
対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象台から共同で発表されます。  
詳細な範囲については「危険度分布」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実  
際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じた  
ら、迷わず自主避難を行いましょう。



## 記録的短時間大雨情報について

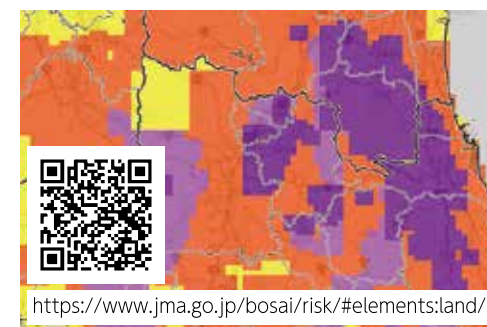
大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測された時に、気象台  
から発表される情報です。  
この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につな  
がるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まって  
いるかを「危険度分布」も合わせて確認してください。



## キキクル(危険度分布)について

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを  
知ることができる、命を守るための情報です。

土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

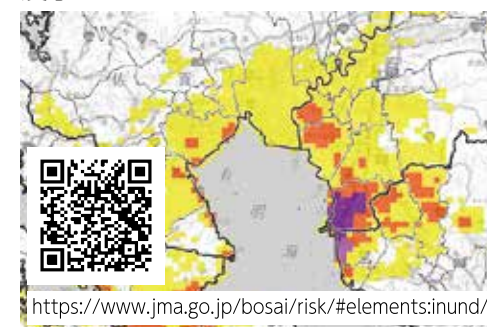


<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>

### 紫：崖・渓流の近くは危険

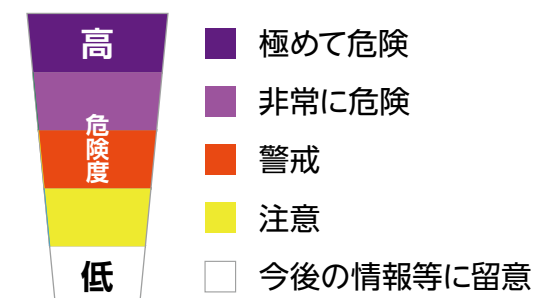


浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:inund/>

### 紫：低地は危険

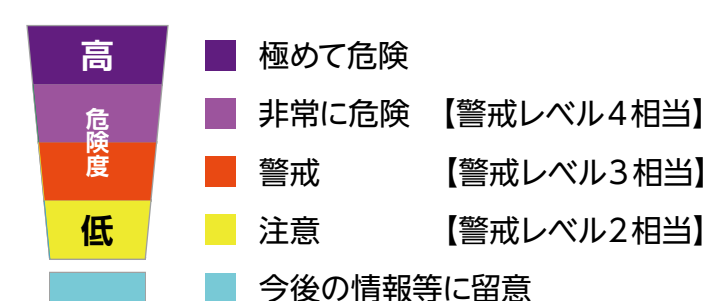


洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/>

### 紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元バーコードの読み取りができない場合があります。  
(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# 非常持ち出し品および備蓄品

## 非常持ち出し品

● とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

### 貴重品

- ・現金 ※公衆電話用に硬貨も
- ・印鑑
- ・家や車の予備鍵
- ・証書類のコピー  
(健康保険証、免許証、通帳、  
保険証書、権利書など)

### 衛生用品

- ・救急セット ※常備薬も
- ・タオル
- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・トイレットペーパー
- ・ウェットティッシュ
- ・ビニール袋
- ・下着類

### 情報収集用品

- ・携帯ラジオ ※予備電池も
- ・携帯電話(スマートフォン)の  
充電器
- ・モバイルバッテリー  
※ライト付きが便利
- ・筆記用具

### 非常飲食品など

- ・非常食 ※軽く高カロリーのもの
- ・飲料水
- ・給水袋
- ・万能ナイフ

### 安全用品

- ・懐中電灯 ※予備電池も
- ・ヘルメット・防災ずきん
- ・軍手
- ・スリッパ
- ・笛やブザー  
※居場所を知らせるもの
- ・マッチ・ライター
- ・毛布・保温シート
- ・使い捨てカイロ



## 備蓄品

● 少なくとも3日(できれば1週間)は自力で生活できるように準備

- ・飲料水 ※1人1日3ℓ
- ・食品 ※アルファ化米、長期保存食品など
- ・給水用ポリタンク・バケツ
- ・カセットコンロ・ガスボンベ
- ・使い捨ての食器類
- ・食品用ラップ
- ・ランタン
- ・災害用トイレット
- ・からだ拭きシート
- ・水のいらないシャンプー
- ・ガムテープ
- ・ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

## 定期的に点検を!

いざというときに支障がないように食品類の賞味期限や持ち出し用品の不備を定期的に点検しましょう。

# 避難行動判定フロー

※避難行動については、地震・津波災害時はP8を、洪水・土砂災害時はP20を合わせて確認してください。

## 普段から確認

## ●あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップ(※1)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

**必ず取組みましょう!**



家がある場所に色が塗られていますか?

はい

災害の危険があるので、**原則として(※2) 立退き避難**(自宅の外に避難)が必要です。

例外

※2 浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。  
②浸水する深さよりも高いところにいる。  
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**(自宅に留まり安全確保すること)も可能です。

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

**警戒レベル3 高齢者等避難**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

いいえ

**警戒レベル3 高齢者等避難**が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

はい

**警戒レベル4 避難指示**が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)。

いいえ

**警戒レベル4 避難指示**が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう。



# 地震対策について

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

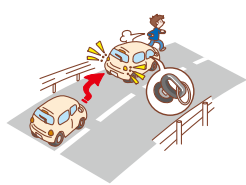


### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

### 車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などがなければ、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



### 海岸付近

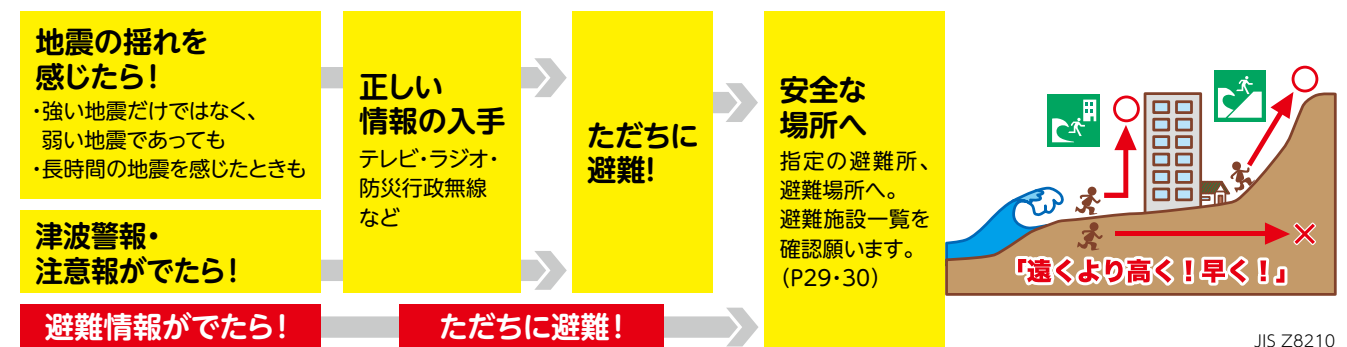
- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

# 津波対策について

## 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波 警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波 注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

## 津波からの避難



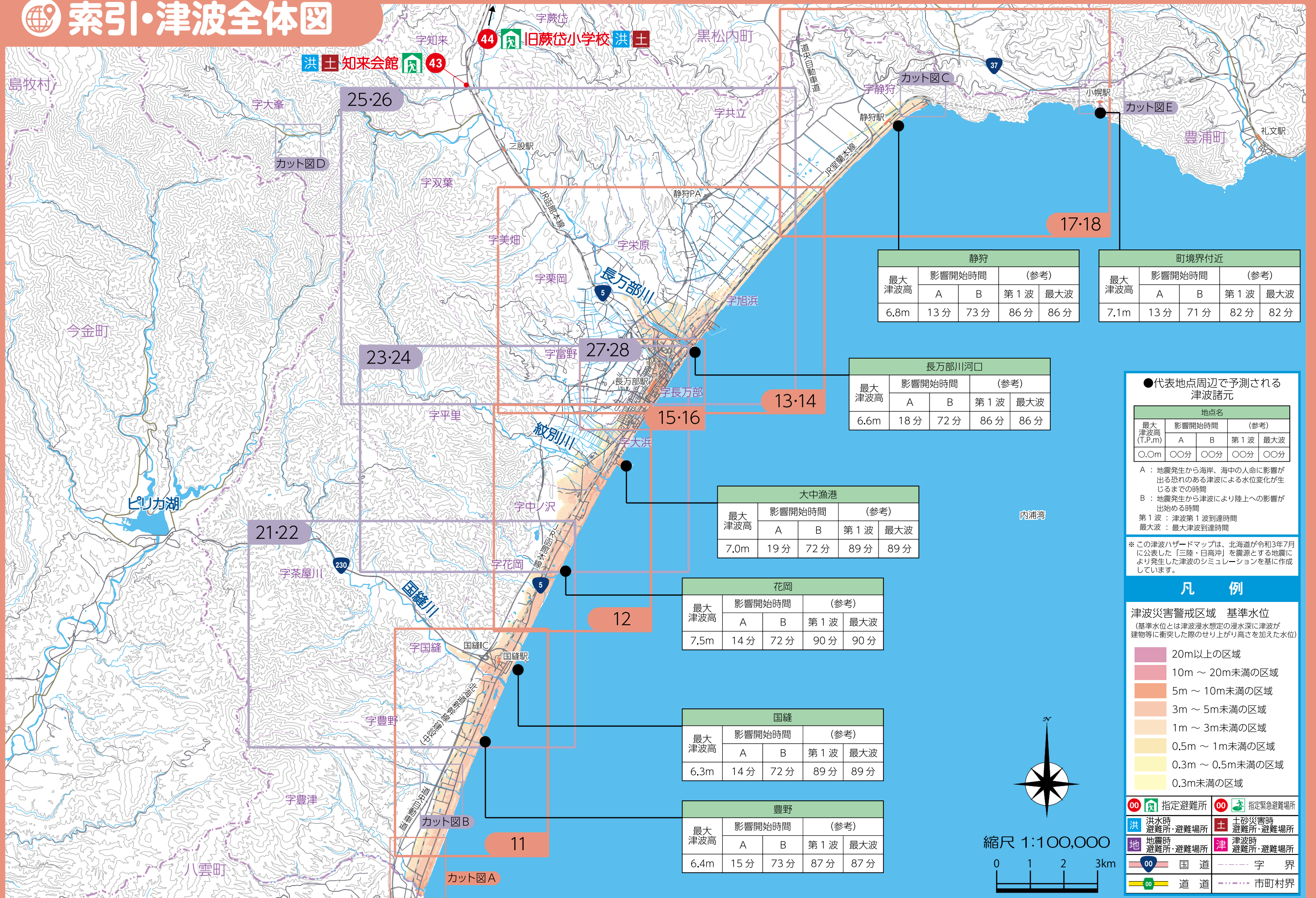
## 津波の特性と避難行動のポイント

- 水辺からすぐに離れる**  
津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。
- 津波の速度は速い**  
津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。
- 避難したら戻らない**  
到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
- 津波は何度も来る**  
津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。
- 津波は場所により高くなる**  
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。
- 津波は遠くからも来る**  
津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

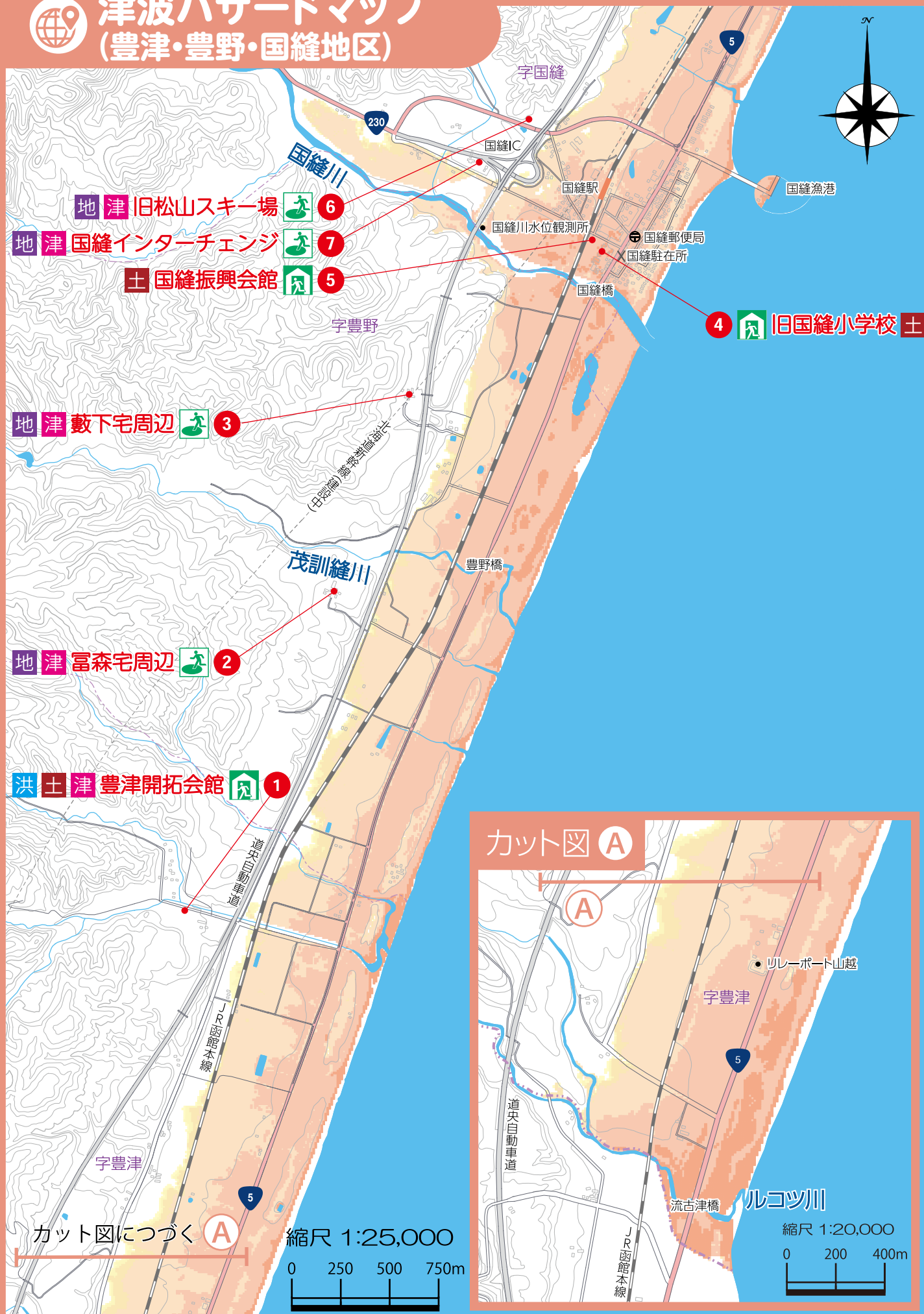


# 索引・津波全体図

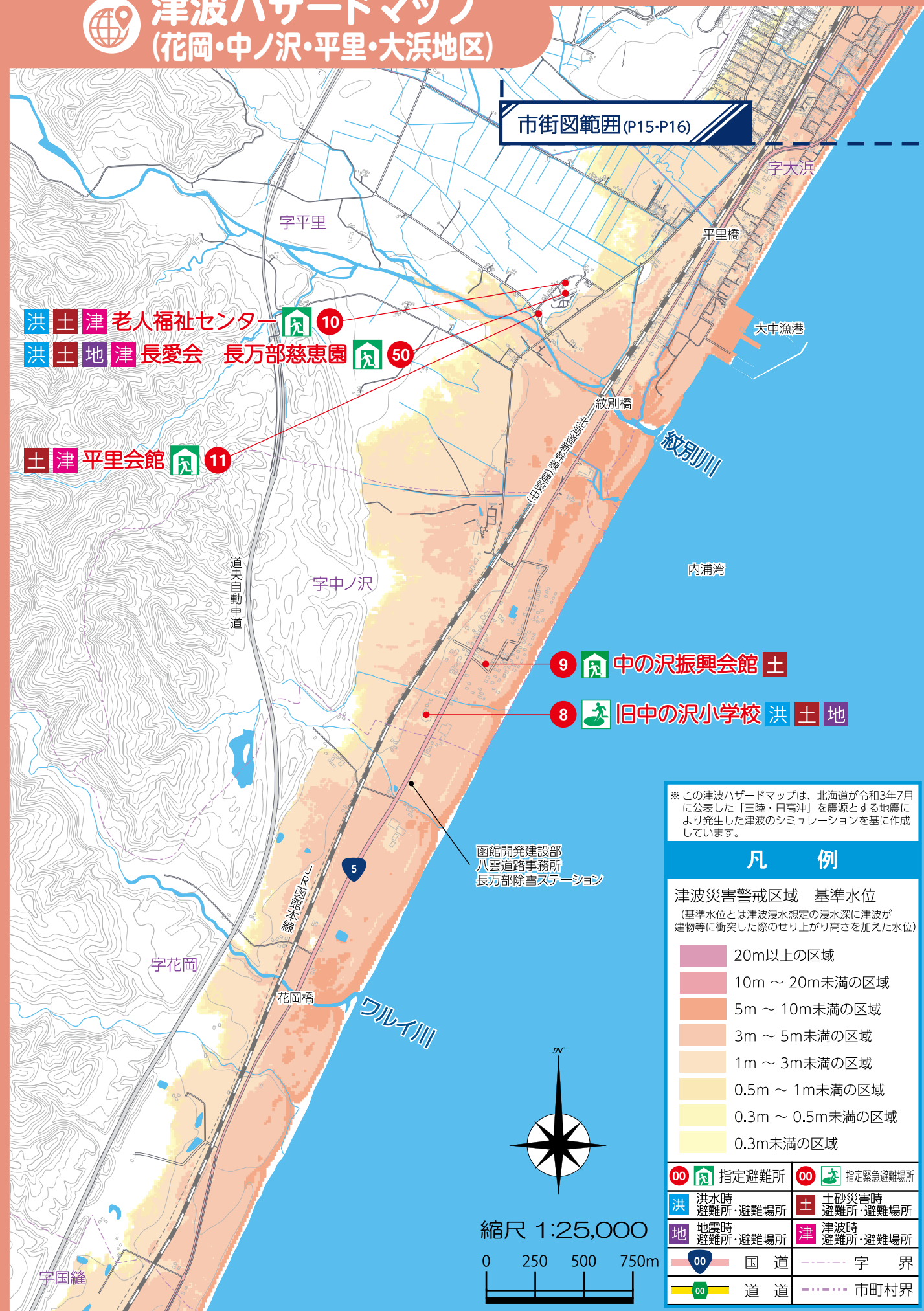




# 津波ハザードマップ (豊津・豊野・国縫地区)

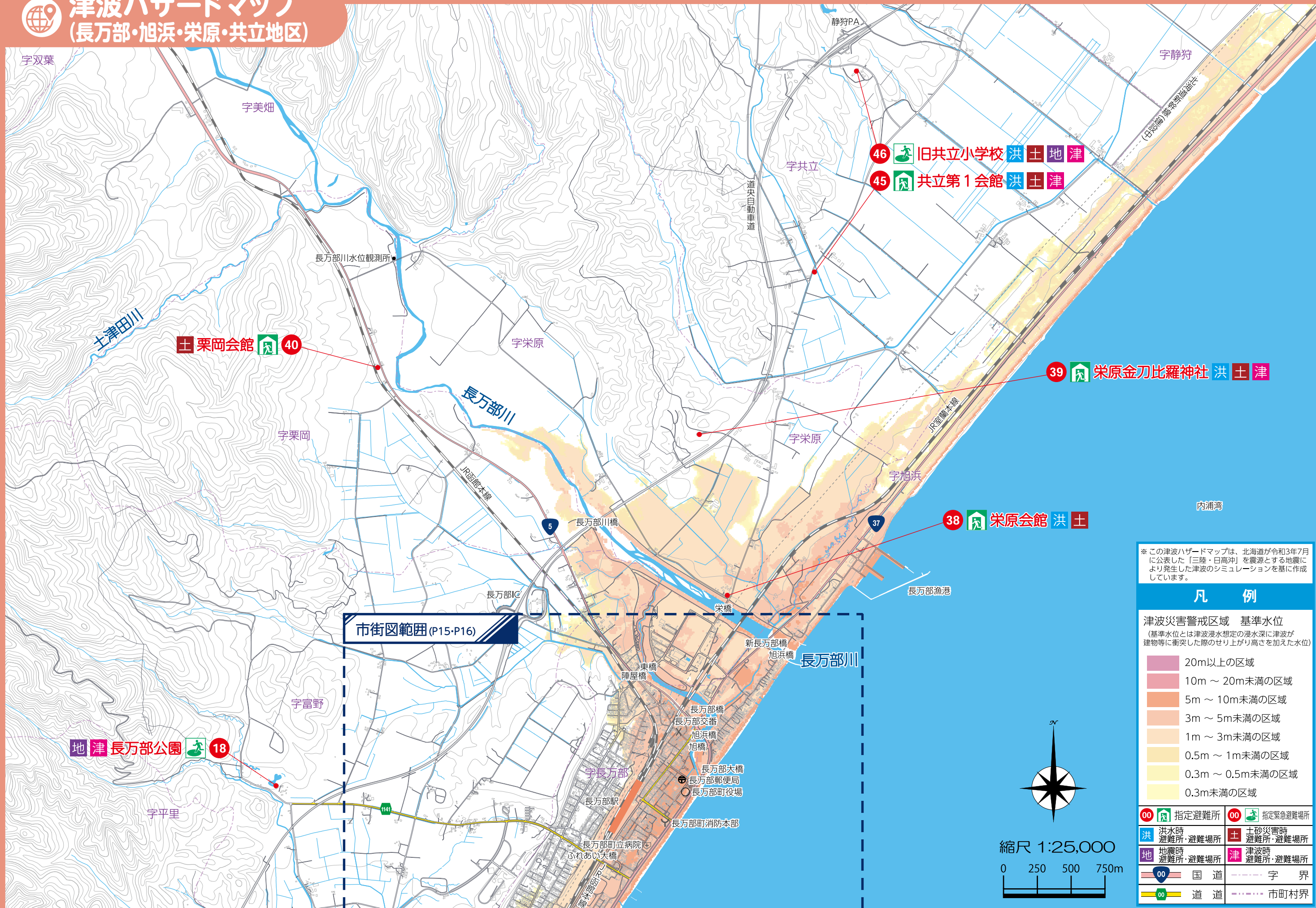


# 津波ハザードマップ (花岡・中ノ沢・平里・大浜地区)





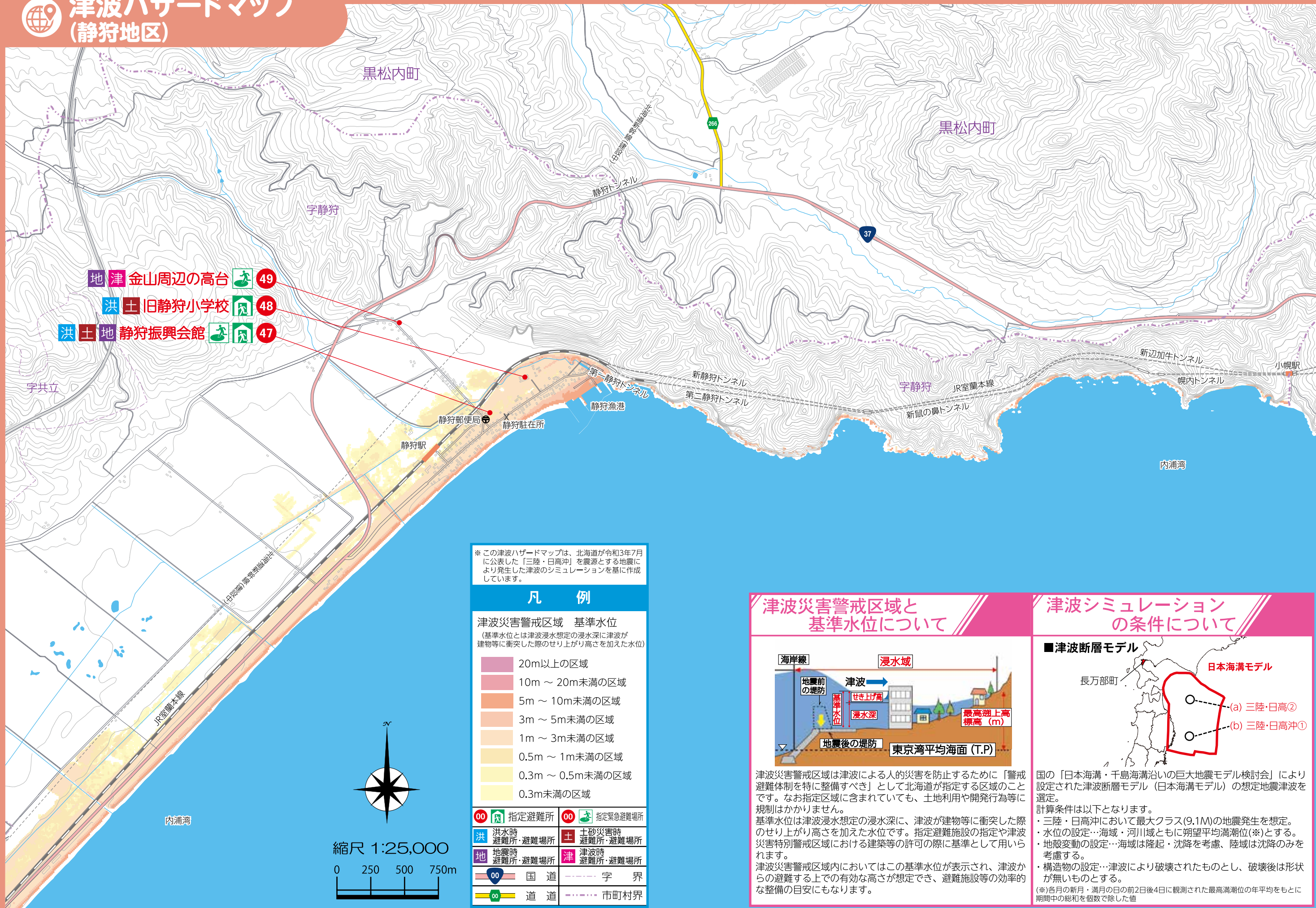
# 津波ハザードマップ (長万部・旭浜・栄原・共立地区)











※この津波ハザードマップは、北海道が令和3年7月に公表した「三陸・日高沖」を震源とする地震により発生した津波のシミュレーションを基に作成しています。

### 凡 例

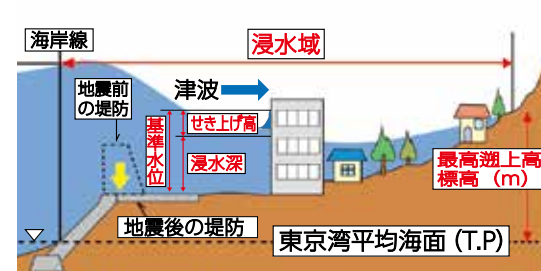
津波災害警戒区域 基準水位  
(基準水位とは津波浸水想定の高さに津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位)

- 20m以上の区域
- 10m ～ 20m未満の区域
- 5m ～ 10m未満の区域
- 3m ～ 5m未満の区域
- 1m ～ 3m未満の区域
- 0.5m ～ 1m未満の区域
- 0.3m ～ 0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

指定避難所	指定緊急避難場所
洪水時避難所・避難場所	土砂災害時避難所・避難場所
地震時避難所・避難場所	津波時避難所・避難場所
国 道	市 界
道 道	市町村界



### 津波災害警戒区域と基準水位について

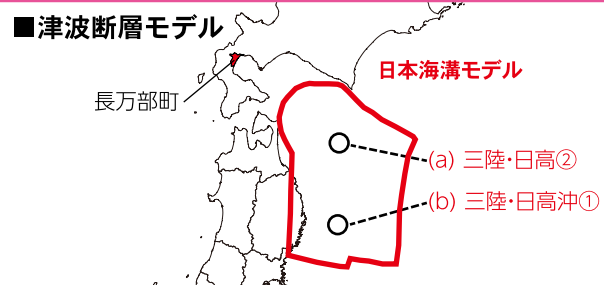


津波災害警戒区域は津波による人的災害を防止するために「警戒避難体制を特に整備すべき」として北海道が指定する区域のことです。なお指定区域に含まれていても、土地利用や開発行為等に規制はかかりません。

基準水位は津波浸水想定の高さに、津波が建物等に衝突した際のせり上がり高さを加えた水位です。指定避難施設の指定や津波災害特別警戒区域における建築等の許可の際に基準として用いられます。

津波災害警戒区域内においてはこの基準水位が表示され、津波からの避難する上での有効な高さが想定でき、避難施設等の効率的な整備の目安にもなります。

### 津波シミュレーションの条件について



国の「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」により設定された津波断層モデル（日本海溝モデル）の想定地震津波を選定。

計算条件は以下となります。

- ・三陸・日高沖において最大クラス(9.1M)の地震発生を想定。
- ・水位の設定…海域・河川域ともに朔望平均満潮位(※)とする。
- ・地殻変動の設定…海域は隆起・沈降を考慮、陸域は沈降のみを考慮する。
- ・構造物の設定…津波により破壊されたものとし、破壊後は形状が無いものとする。

(※)各月の新月・満月の日の前2日後4日に観測された最高満潮位の年平均をもとに期間中の総和を個数で除した値



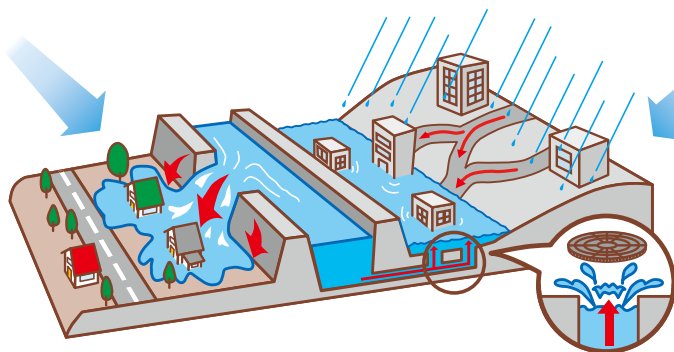
# 洪水・浸水害について

## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

### 外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増するため、最大の注意が必要。

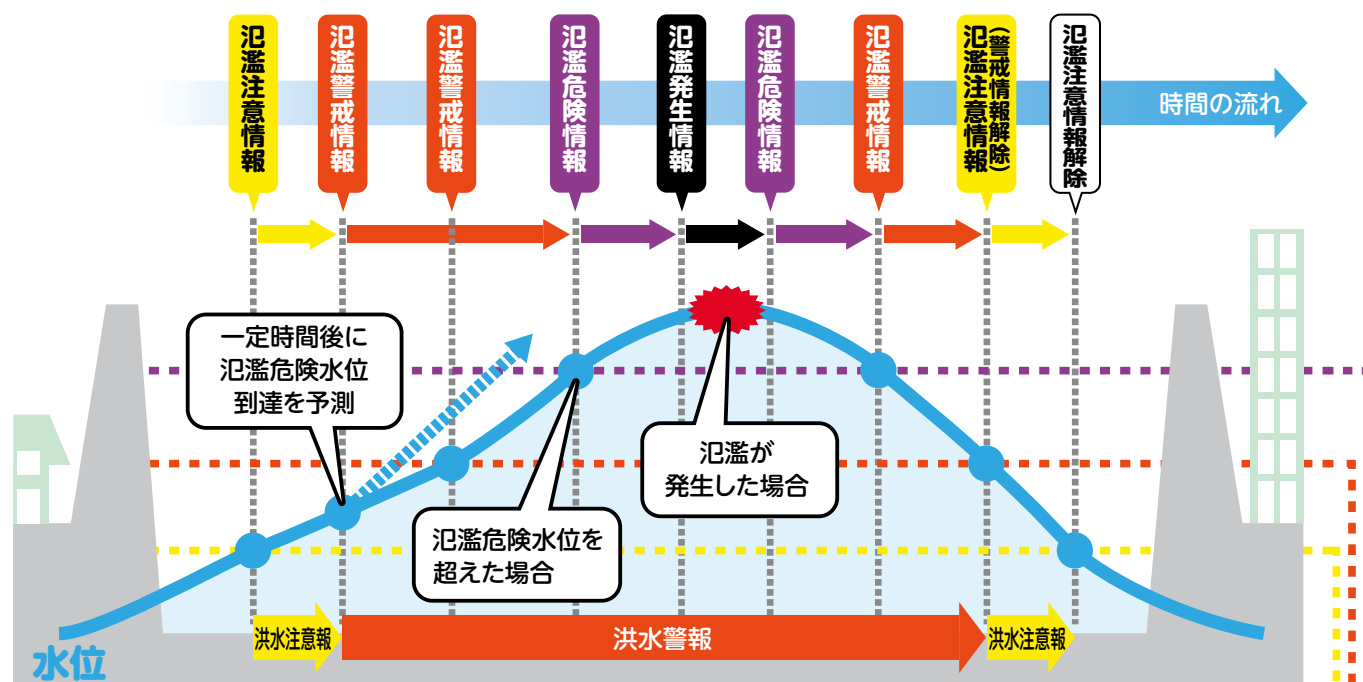


### 内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

## 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



河川名	長万部川	国縫川
観測所	長万部川水位観測所	国縫川水位観測所
氾濫危険水位(レベル4水位)	11.11	3.90
避難判断水位(レベル3水位)	10.18	—
氾濫注意水位(レベル2水位)	9.89	2.82
水防団待機水位	8.82	2.04

(単位：m)

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 避難行動のポイント、危険な場所

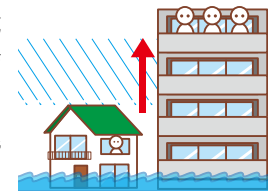
### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中で、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避する。



### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



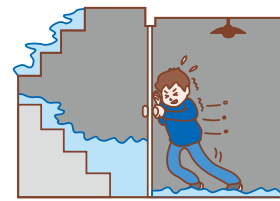
### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続き不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避ける。



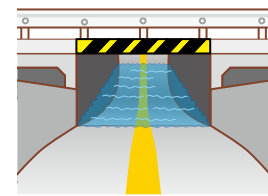
### ！ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



### ！ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



# 土砂災害について

## 土砂災害の警戒区域

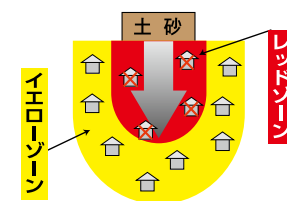
土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



## 避難行動のポイント

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。



- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。





# 洪水・土砂ハザードマップ (国縫川)

IRIC Software  
Creating the Future

## カット図 B



※このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。  
【想定しうる最大規模の降雨量】  
国縫川： 1時間雨量 81mm

### 凡 例

洪水想定浸水深

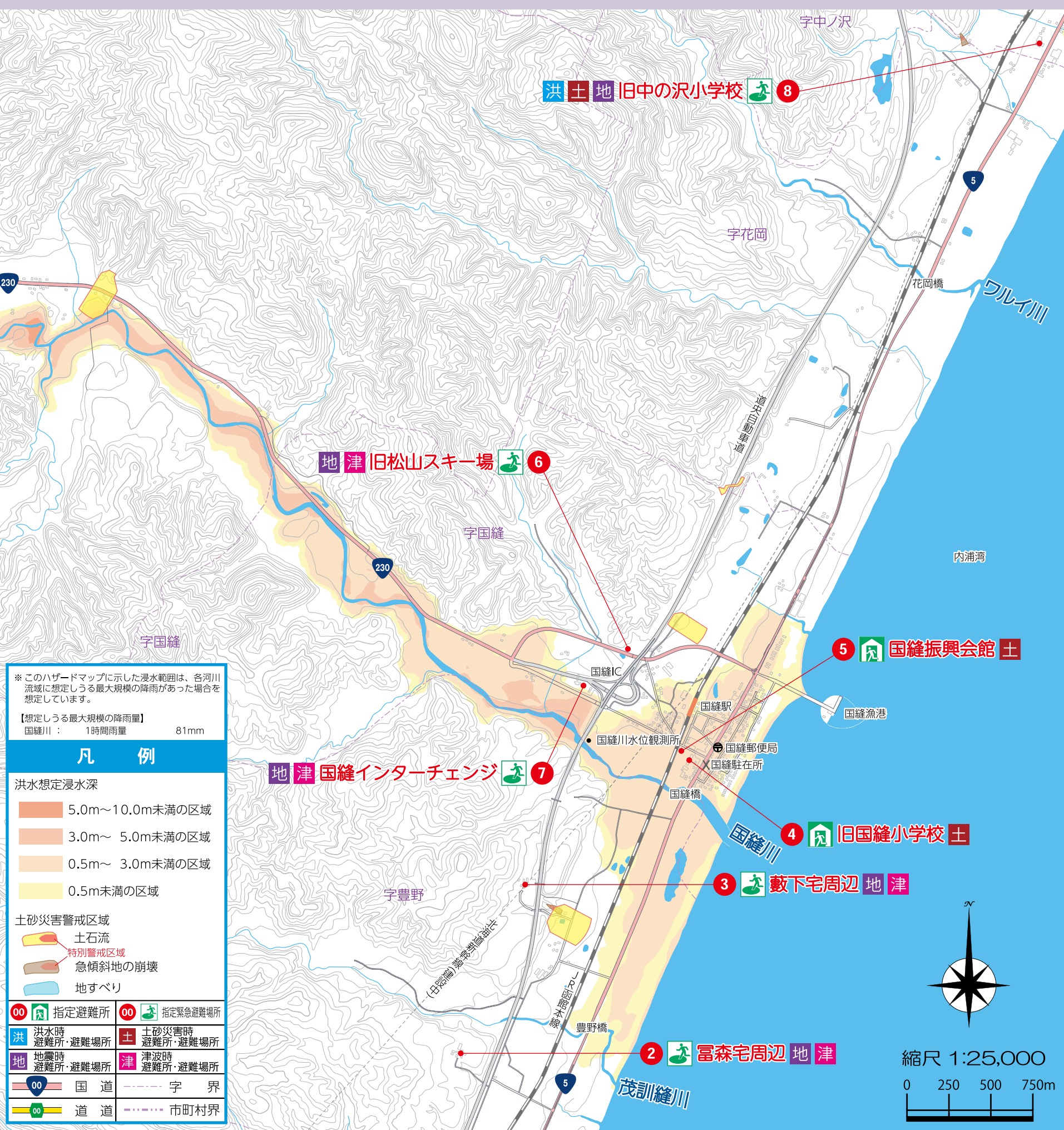
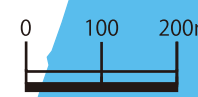
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～ 5.0m未満の区域
- 0.5m～ 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

土砂災害警戒区域

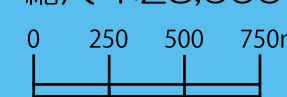
- 土石流
- 特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
- 地すべり

00	指定避難所	00	指定緊急避難場所
洪水時 避難所・避難場所	土砂災害時 避難所・避難場所	津波時 避難所・避難場所	津波時 避難所・避難場所
地震時 避難所・避難場所	津波時 避難所・避難場所		
00	国道	---	字 界
00	道 道	---	市町村界

縮尺 1:10,000



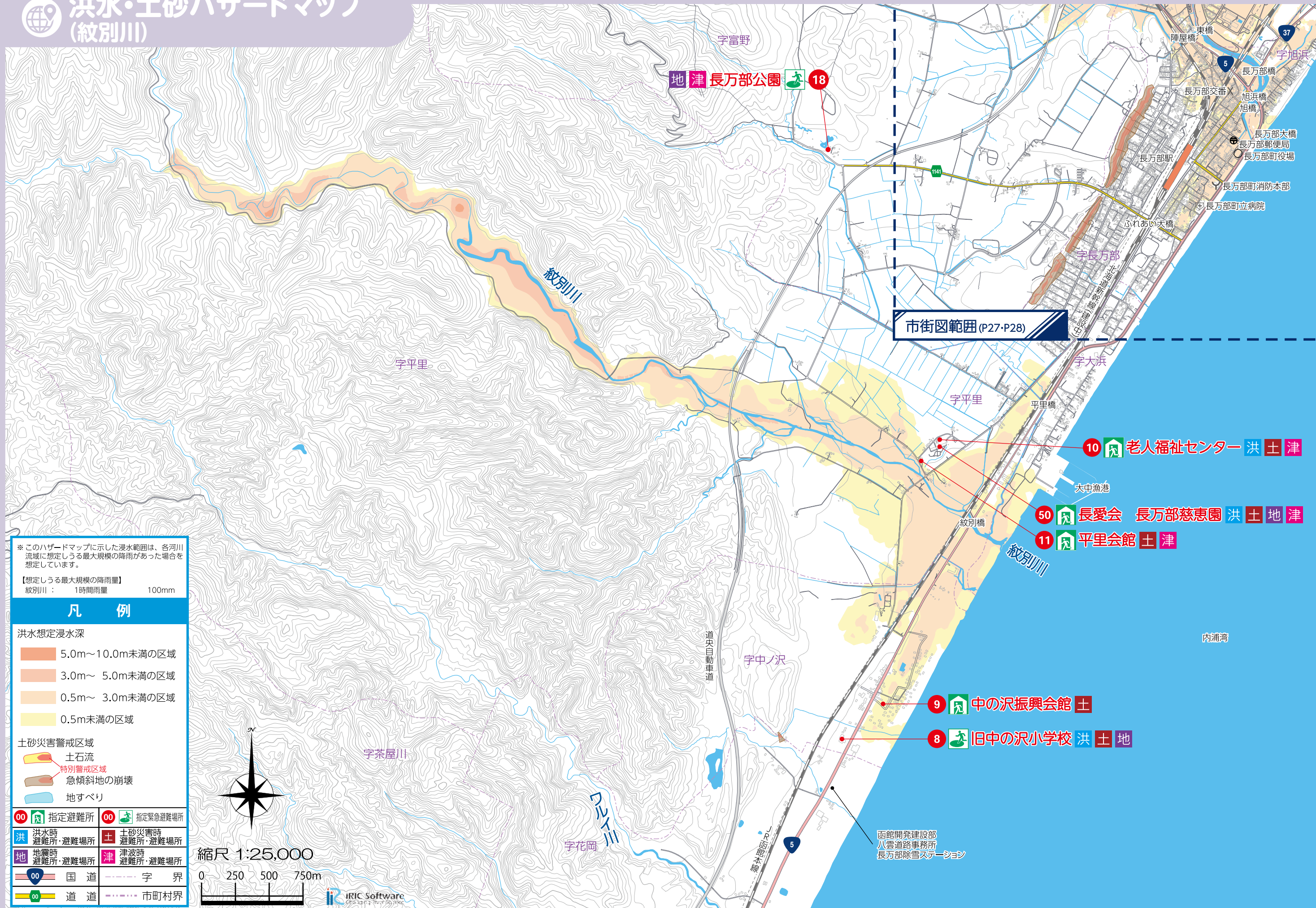
縮尺 1:25,000







# 洪水・土砂ハザードマップ (紋別川)







# 洪水・土砂ハザードマップ (長万部川)

※ このハザードマップに示した浸水範囲は、各河川流域に想定しうる最大規模の降雨があった場合を想定しています。

【想定しうる最大規模の降雨量】  
長万部川： 24時間総雨量 409mm

## 凡 例

洪水想定浸水深

- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～ 5.0m未満の区域
- 0.5m～ 3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

土砂災害警戒区域

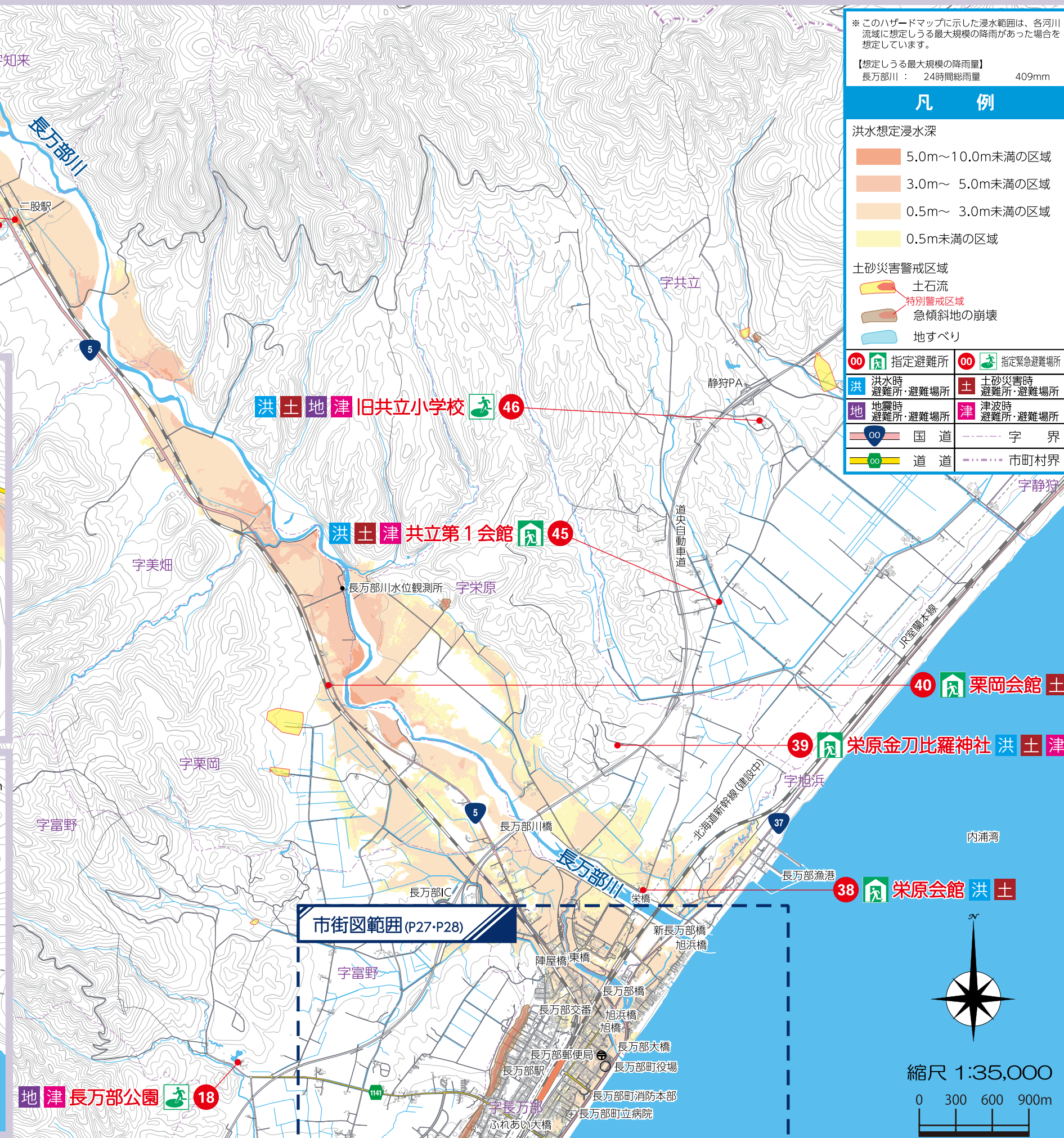
- 土石流
- 特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
- 地すべり

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 00  指定避難所       | 00  指定緊急避難場所      |
| 洪水時<br>避難所・避難場所 | 土砂災害時<br>避難所・避難場所 |
| 地震時<br>避難所・避難場所 | 津波時<br>避難所・避難場所   |
| 00 国 道          | --- 字 界           |
| 00 道 道          | --- 市町村界          |

## カット図D



## カット図C









避難施設の種類

指定緊急避難場所	災害発生後の一時避難場所として、学校のグラウンド・公園・公共施設などを指定しています。
指定避難所	災害による家屋の倒壊などで、居住場所を確保できなかった人たちの収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮したうえで、学校・地域会館・公共建築物などを指定しています。

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

No.	指定緊急避難場所	指定避難所	緊急避難場所・避難所	所在地	海拔(m)	災害種別ごと適否			
						洪水	土砂	地震	津波
1		○	豊津開拓会館	豊津 260-14	9.5	○	○	—	○
2	○		富森宅周辺	豊野	33.0	—	—	○	○
3	○		藪下宅周辺	豊野	43.0	—	—	○	○
4		○	旧国縫小学校	国縫 37-6	1.8	×	○	×	×
5		○	国縫振興会館	国縫 37-1	2.4	×	○	×	×
6	○		旧松山スキー場	国縫 214-6	21.0	—	—	○	○
7	○		国縫インターチェンジ	国縫 247-1	11.0	—	—	○	○
8	○		旧中の沢小学校	中ノ沢 13-2	5.0	○	○	○	×
9		○	中の沢振興会館	中ノ沢 41-5	4.0	×	○	×	×
10		○	老人福祉センター	平里 91-11	8.8	○	○	×	○
11		○	平里会館	平里 91-7	8.8	×	○	×	○
12	○	○	大浜振興会館	大浜 75-13	4.5	○	○	○	×
13	○	○	富野振興会館	富野 115	35.0	○	○	○	○
14		○	富野八幡神社	富野 140	35.0	○	○	○	○
15	○		東京理科大学	富野 102-1	25.0	○	○	○	○
16	○		旧苗畑跡地周辺	富野 117-1	35.0	—	—	○	○
17	○		スキー場の高台	富野 117-11	38.0	—	—	○	○
18	○		長万部公園	富野 243-21	25.0	—	—	○	○
19	○		長万部小学校	長万部 3-5	3.9	○	○	○	×
20		○	特別母と子の家	長万部 450-10	2.0	×	○	×	×
21	○		長万部町役場	長万部 453-1	2.0	×	○	○	×
22		○	長万部振興会館	長万部 452-1	2.0	×	○	×	×
23		○	乗蓮寺	長万部 128	2.2	×	○	×	×
24		○	西念寺	長万部 153	2.9	×	○	×	×
25		○	陣屋生活館	長万部 326-4	5.3	×	○	×	×
26	○		飯生神社	長万部 379	13.0	○	○	○	○

No.	指定緊急避難場所	指定避難所	緊急避難場所・避難所	所在地	海拔(m)	災害種別ごと適否			
						洪水	土砂	地震	津波
27	○		学習文化センター	長万部 411-216	7.5	○	○	○	○
28		○	青少年会館	長万部 413-1	7.1	○	○	×	○
29		○	スポーツセンター	長万部 413-1	7.3	○	×	×	○
30		○	福祉センター	長万部 413-1	7.5	○	×	×	○
31		○	高砂振興会館	長万部 411-27	10.0	○	○	×	○
32	○		さかえ保育所	長万部 430-143	7.4	○	×	○	○
33	○	○	ふれあい会館	長万部 434-117	6.6	○	○	○	○
34	○		旧デッカ塔跡地	富野 92	32.0	—	—	○	○
35		○	旭浜生活館	旭浜 83-2	2.3	×	○	×	×
36	○		長万部中学校	栄原 138	3.3	×	○	○	×
37	○		長万部高校	栄原 143-1	3.4	×	○	○	×
38		○	栄原会館	栄原 121-1	4.5	○	○	×	×
39		○	栄原金刀比羅神社	栄原 88-1	28.2	○	○	×	○
40		○	栗岡会館	栗岡 127-3	9.5	×	○	×	—
41	○	○	双葉振興会館	双葉 394-3	30.0	×	○	○	—
42	○		旧双葉小学校	双葉 86	30.0	○	○	○	—
43		○	知来会館	知来 138-1	50.0	○	○	×	—
44		○	旧蕨岱小学校	蕨岱 139	95.0	○	○	×	—
45		○	共立第1会館	共立 47-1	10.0	○	○	×	○
46	○		旧共立小学校	共立 471	40.0	○	○	○	○
47	○	○	静狩振興会館	静狩 41-5	5.5	○	○	○	×
48		○	旧静狩小学校	静狩 166	5.2	○	○	×	×
49	○		金山周辺の高台	静狩 241-1	13.0	—	—	○	○
50		◎	長愛会 長万部慈恵園	平里 91-11	8.8	○	○	○	○
51		◎	長愛会 ふれあいハイムおしゃまんべ	長万部 422-26	8.8	○	×	○	○

※◎は福祉避難所 ※—は災害種別の該当がありません。

家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

<input type="checkbox"/> 家の中で一番安全な場所
<input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担 ・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
<input type="checkbox"/> 避難場所、避難経路 ・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう ・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
<input type="checkbox"/> 自宅付近の災害リスク、危険個所の確認
<input type="checkbox"/> 災害が起こった時の身の守り方
<input type="checkbox"/> 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
<input type="checkbox"/> 要配慮者（乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など）のサポートと避難方法





# 📋 わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

集合場所	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び救急情報

氏 名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	救急情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

## 親族・知人

氏 名	間柄	電話番号

## かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

## 緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・  
救助の連絡

119

警察へ事件・  
事故の連絡

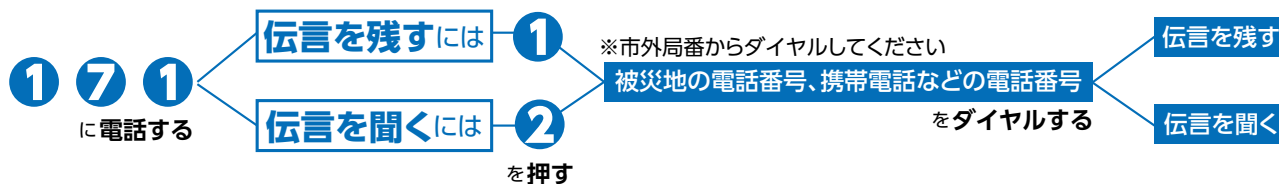
110

海上の事件・  
事故の連絡

118

## 災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります  
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



発行 長万部町

総務課・防災交通係 TEL 01377-2-2451 (総務課直通)

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 4JHs 535-062号」  
JIS Z8210 広域避難場所 避難所(建物)

令和6年(2024年)12月発行